



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場会社名 大豊工業株式会社
コード番号 6470 URL <http://www.taihonet.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上田 建仁
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 都甲 仁

TEL 0565-28-2225

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	58,550	17.7	2,350	—	2,432	417.0	1,517	—
22年3月期第3四半期	49,761	△33.6	143	△85.9	470	△58.5	△596	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	54.07	48.19
22年3月期第3四半期	△21.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	85,510	43,280	50.1	1,525.65
22年3月期	87,527	43,010	48.7	1,517.69

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 42,824百万円 22年3月期 42,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
23年3月期	—	10.00	—		
23年3月期 (予想)				10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	9.3	3,200	119.9	3,600	89.3	2,300	557.5	81.94

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 — 社 (社名)、 除外 — 社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	28,222,657株	22年3月期	28,222,657株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	153,020株	22年3月期	152,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	28,069,749株	22年3月期3Q	28,070,174株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P 2
2. その他の情報.....	P 3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	P 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	P 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	P 3
3. 四半期連結財務諸表.....	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P 4
(2) 四半期連結損益計算書.....	P 6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P 8
(4) セグメント情報.....	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P 9
4. 【参考】個別財務諸表（要約）.....	P10
【参考】平成23年3月期第3四半期決算参考資料（連結）.....	P11
【参考】平成23年3月期第3四半期決算参考資料（個別）.....	P12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の改善や政策効果を背景に持ち直しが期待された一方、為替や株価の変動、デフレの影響等により、依然として厳しい状況が続きました。

自動車業界におきましては、新興国を中心とした景気拡大に伴い、自動車需要は回復しておりますが、国内ではエコカー補助金の終了による販売台数減、国外は円高による輸出採算の悪化など、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の中、グループ一丸となり、「VISION2015」達成に向け、強固かつ高収益な体質づくりに更なる努力をしております。

売上高は、国内新車販売台数および輸出の増加などから売上高は585億5千万円となり、前年同期に比べ87億8千万円（前年同期比17.7%増）の増収となりました。製品部門別にみますと、軸受製品では233億3千万円（前年同期比28.9%増）、ダイカスト製品では99億7千万円（前年同期比1.2%増）、ガasket製品では、75億1千万円（前年同期比11.8%増）、組付製品他では117億6千万円（前年同期比12.1%増）、設備・金型製品では57億円（前年同期比28.5%増）となりました。

営業利益は、売上高が増加したことに加えグループあがでの経営全般にわたる合理化活動に取り組んだ結果、23億5千万円となり、前年同期に比べ22億円の増益となりました。

経常利益は、24億3千万円となり、前年同期に比べ19億6千万円（前年同期比417.0%増）の増益となりました。

四半期純利益は、15億1千万円となり、前年同期 5億9千万円の当期純損失から黒字転換いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて16億7千万円増加し、397億2千万円となりました。これは、現金及び預金が13億6千万円増加したことなどによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて36億9千万円減少し、457億8千万円となりました。これは、有形固定資産が35億6千万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて20億1千万円減少し855億1千万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11億9千万円増加し、257億6千万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて34億8千万円減少し、164億5千万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて22億8千万円減少し、422億円2千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億7千万円増加し、432億8千万円となりました。これは、利益剰余金が8億8千万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、円高の影響、国内販売の低迷などの不安材料を抱えておりますが、新興国向けの自動車販売が堅調に推移するものと思われまます。

通期の業績見通しにつきましては、連結売上高770億円、連結営業利益32億円、連結経常利益36億円、連結当期純利益23億円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益及び経常利益への影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は、102百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,044	14,677
受取手形及び売掛金	15,259	15,105
有価証券	474	474
商品及び製品	1,820	1,705
仕掛品	1,549	1,468
原材料及び貯蔵品	2,365	2,326
繰延税金資産	743	1,020
その他	1,492	1,285
貸倒引当金	△21	△11
流動資産合計	39,728	38,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,988	24,067
減価償却累計額	△13,494	△13,009
建物及び構築物(純額)	10,494	11,057
機械装置及び運搬具	68,273	67,249
減価償却累計額	△53,092	△51,008
機械装置及び運搬具(純額)	15,181	16,240
土地	12,701	12,729
建設仮勘定	1,154	3,049
その他	13,758	13,729
減価償却累計額	△12,869	△12,819
その他(純額)	888	909
有形固定資産合計	40,419	43,987
無形固定資産		
無形固定資産	583	648
投資その他の資産		
投資有価証券	2,372	2,509
繰延税金資産	1,583	1,452
その他	859	919
貸倒引当金	△36	△43
投資その他の資産合計	4,778	4,838
固定資産合計	45,782	49,473
資産合計	85,510	87,527

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,335	10,402
短期借入金	699	1,000
1年内償還予定の社債	5,999	5,999
1年内返済予定の長期借入金	3,998	1,658
未払費用	3,144	3,651
未払法人税等	302	441
役員賞与引当金	109	123
その他	1,180	1,293
流動負債合計	25,769	24,570
固定負債		
長期借入金	13,721	16,709
資産除去債務	108	—
繰延税金負債	370	438
退職給付引当金	1,447	1,794
役員退職慰労引当金	310	278
負ののれん	310	555
その他	192	170
固定負債合計	16,459	19,945
負債合計	42,229	44,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,193	6,193
資本剰余金	9,662	9,662
利益剰余金	28,819	27,930
自己株式	△189	△189
株主資本合計	44,486	43,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	329	237
為替換算調整勘定	△1,991	△1,234
評価・換算差額等合計	△1,662	△996
新株予約権	94	87
少数株主持分	361	322
純資産合計	43,280	43,010
負債純資産合計	85,510	87,527

(2) 四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	49,761	58,550
売上原価	42,772	48,457
売上総利益	6,988	10,092
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	583	649
役員報酬	242	253
従業員給料	1,673	1,627
賞与	432	583
退職給付費用	150	213
役員退職慰労引当金繰入額	75	69
役員賞与引当金繰入額	84	110
法定福利費	358	324
福利厚生費	328	337
旅費及び交通費	150	160
賃借料	258	242
貸倒引当金繰入額	19	11
減価償却費	252	219
研究開発費	1,055	1,692
その他	1,181	1,248
販売費及び一般管理費合計	6,845	7,742
営業利益	143	2,350
営業外収益		
受取利息	58	47
受取配当金	23	32
持分法による投資利益	33	118
負ののれん償却額	292	245
助成金収入	157	—
その他	183	198
営業外収益合計	749	642
営業外費用		
支払利息	229	200
固定資産除却損	90	114
為替差損	40	183
その他	61	61
営業外費用合計	421	560
経常利益	470	2,432

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	32	8
新株予約権戻入益	6	21
その他	△11	—
受取保険金	—	5
退職給付制度改定益	—	27
特別利益合計	27	65
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	16	21
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	7	291
その他の投資評価損	5	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	101
その他	2	—
特別損失合計	34	417
税金等調整前四半期純利益	463	2,080
法人税、住民税及び事業税	244	501
過年度法人税等戻入額	△8	—
法人税等調整額	809	17
法人税等合計	1,045	518
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,562
少数株主利益	14	44
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△596	1,517

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用し、報告セグメントは、「自動車部品関連事業」、「自動車製造用設備関連事業」、「その他」としております。

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日) (単位:百万円未満切捨)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車部品 関連事業	自動車製造用 設備関連事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,681	5,700	167	58,550	—	58,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	188	876	1,064	△1,064	—
計	52,681	5,889	1,043	59,615	△1,064	58,550
セグメント利益又は損失(△)	5,667	△85	134	5,717	△3,366	2,350

(注) セグメント間取引消去によるものです。

各セグメントに属する主要製品・サービス

- (1) 自動車部品関連事業……………軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット製品、組付製品
- (2) 自動車製造用設備関連事業……………搬送装置、金型、溶接機、設備部品
- (3) その他……………物品の小売、作業改善コンサルティング、梱包等のサービス業

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円未満切捨)

	自動車部品 関連事業	自動車製造用 設備関連事業	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	45,163	4,434	163	49,761	—	49,761
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	85	790	876	△876	—
計	45,163	4,520	954	50,637	△876	49,761
営業利益又は営業損失 (△)	3,782	△517	93	3,358	△3,215	143

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 自動車部品関連事業……………軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット製品、組付製品
- (2) 自動車製造用設備関連事業……………搬送装置、金型、溶接機、設備部品
- (3) その他……………物品の小売、作業改善コンサルティング、梱包等のサービス業

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 【参考】個別財務諸表（要約）（平成22年4月1日～平成22年12月31日） 損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	前第3四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高		33,458	38,535
売上原価		28,981	32,892
販売費及び一般管理費		4,406	5,295
営業利益		70	347
営業外収益		368	465
営業外費用		304	340
経常利益		135	471
特別利益		11	27
特別損失		7	98
税引前四半期純利益		139	400
法人税、住民税及び事業税		△11	9
法人税等調整額		69	131
四半期純利益		81	259

貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	当第3四半期末 (平成22年12月31日)	前期末 (平成22年3月31日)
(資産の部)			
流動資産		25,270	23,777
現金預金		10,256	8,848
受取手形及び売掛金		9,708	9,643
その他		5,305	5,285
固定資産		40,626	42,419
有形固定資産		19,959	21,797
機械装置		7,236	7,005
その他		12,722	14,791
無形固定資産		298	321
投資その他の資産		20,368	20,300
合 計		65,897	66,197
(負債の部)			
流動負債		16,981	14,790
固定負債		11,432	13,538
負債計		28,414	28,329
(純資産の部)			
資本金		6,193	6,193
資本剰余金		9,848	9,848
利益剰余金		21,257	21,615
自己株式		△212	△212
その他有価証券評価差額金		301	335
新株予約権		94	87
純資産計		37,482	37,868
合 計		65,897	66,197

*開示した四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象にはなりません。

平成23年2月2日

大豊工業株式会社

(コード番号 6470)

平成23年3月期 第3四半期 決算参考資料(連結)

1. 業績推移

(単位:百万円)

	前年第3四半期		当第3四半期		増減		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
売上高	49,761	100.0	58,550	100.0	8,789	17.7	77,000	100.0
営業利益	143	0.3	2,350	4.0	2,207	—	3,200	4.2
経常利益	470	0.9	2,432	4.2	1,962	417.0	3,600	4.7
当期純利益	△596	△1.2	1,517	2.6	2,113	—	2,300	3.0

2. 経常利益増減要因(対前期比)

(単位:百万円)

増益要因		減益要因	
・売上増による利益増	3,500	・原材料価格の変動	1,400
・合理化努力	1,500	・労務費の増	900
・減価償却費の減	130	・価格改定	450
		・為替変動による利益減	310
		・その他	108
計	5,130	計	3,168
差引 経常利益の増 1,962百万円			

3. 主要な経営指標等の推移

	前年第3四半期	当第3四半期	増減
自己資本比率(%)	46.3	50.1	3.8
自己資本当期純利益率(%)	△1.4	3.6	5.0
総資産経常利益率(%)	0.5	2.8	2.3
1株当たり当期純利益(円)	△21.25	54.07	75.32
1株当たり純資産(円)	1,479.49	1,525.65	46.16

4. 売上高推移

(単位:百万円)

	前年第3四半期		当第3四半期		増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比	
自動車部品	軸受						
	メタル	8,211	16.5	10,468	17.9	2,257	27.5
	ブシュ	6,935	13.9	8,763	15.0	1,828	26.4
	その他	2,948	6.0	4,098	7.0	1,150	39.0
	小計	18,094	36.4	23,330	39.9	5,236	28.9
	ダイカスト製品	9,854	19.8	9,970	17.0	116	1.2
	ガasket製品	6,724	13.5	7,517	12.9	792	11.8
	組付製品他	10,489	21.1	11,763	20.2	1,274	12.1
	計	45,163	90.8	52,681	90.0	7,518	16.6
自動車製造用設備	設備	3,595	7.2	4,681	8.0	1,086	30.2
	精密金型	839	1.7	1,019	1.7	179	21.4
	自動車製造用設備計	4,434	8.9	5,700	9.7	1,266	28.5
	その他	163	0.3	167	0.3	4	2.5
	合計	49,761	100.0	58,550	100.0	8,788	17.7

5. 設備投資と減価償却費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費
22年12月期実績	1,470	4,389
通期計画	3,000	6,000

平成 23 年 2 月 2 日

大豊工業株式会社

(コード番号 6470)

平成 23 年 3 月 期 第 3 四 半 期 決 算 参 考 資 料 (個 別)

1. 業績推移

(単位:百万円)

	前年第3四半期		当第3四半期		増減		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
売上高	33,458	100.0	38,535	100.0	5,077	15.2	51,000	100.0
営業利益	70	0.2	347	0.9	277	395.7	800	1.6
経常利益	135	0.4	471	1.2	336	248.9	1,200	2.4
当期純利益	81	0.2	259	0.7	178	219.8	750	1.5

2. 経常利益増減要因(対前期比)

(単位:百万円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
・売上増による利益増	1,480	・原材料価格の変動	920
・合理化努力	1,050	・労務費の増	550
・受取配当金の増	210	・価格改定	310
		・為替変動による利益減	250
		・減価償却費の増	180
		・その他	194
計	2,740	計	2,404
差 引		経常利益の増 336 百万円	

3. 主要な経営指標等の推移

	前年第3四半期	当第3四半期	増減
自己資本比率(%)	53.4	56.7	3.3
自己資本当期純利益率(%)	0.2	0.7	0.5
総資産経常利益率(%)	0.2	0.7	0.5
1株当たり当期純利益(円)	2.9	9.3	6.4
1株当たり純資産(円)	1,335.10	1,338.72	3.62

4. 売上高推移

(単位:百万円)

	前年第3四半期		当第3四半期		増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
軸受	メタル	7,144	21.4	8,437	21.9	1,292	18.1
	ブシュ	6,553	19.6	7,820	20.3	1,266	19.3
	その他	2,619	7.8	3,600	9.3	981	37.5
小計	16,317	48.8	19,858	51.5	3,540	21.7	
ダイカスト製品	9,488	28.4	9,556	24.8	68	0.7	
組付製品他	6,728	20.0	7,989	20.7	1,263	18.8	
精密金型	923	2.8	1,131	2.9	207	22.5	
合計	33,458	100.0	38,535	100.0	5,077	15.2	

5. 設備投資と減価償却費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費
22年12月期実績	733	2,434
通期計画	1,500	3,300